令和３年度折尾西校区社会福祉協議会活動に参加して

サングリーンアネモス　藤原大樹

令和３年度も残りわずかになりました。まず、今年度も折尾西校区社会福祉協議会の皆様と活動を共にできたこと、感謝申し上げます。

今年度を振り返りますと、結果的に新型コロナウイルスに翻弄される一年でした。現在も第６波の収束が見込めていない状況です。オミクロン株は感染力が強く、特に子どもの感染が目立ち、私たちの職員の家族も大きく影響を受けています。この６波では、抗原検査キットを北九州市から提供を受け、体調が疑わしい時は施設で検査を受けて、職場に入るというチェック体制を強化し、施設に持ち込まないように職員一同細心の注意を払い、運営しているところです。

今年１月に、２年ぶりに「認知症」に関しての講義を担当させて頂きました。時間・人数に制限がありましたが、「認知症」について知識を分かち合えた時間は、大変意義深いものでした。それは、社会がコロナ一辺倒であっても、福祉課題は地域の中で常に進行形で存在しているからです。令和４年度もコロナとの闘いは続くでしょうが、地域の中でサポートを必要としている方に寄り添えるよう、皆様と新年度も一緒に励んで参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

ものわすれ予防等事業助成制度活用による
『認知症講演会』実施しました。

日時：令和４年１月２２日（土）
場所：折尾西市民センター
参加人員：２２名（福祉協力員他）
講演テーマ：認知症の基礎知識と認知症の人を支える
講師：社会福祉法人　北九州福祉会
社会福祉士・介護支援専門員　藤原 大樹 氏

参加者の声：当校区社協の重点活動の「高齢者等の見守り」活動に大変役立つ内容でした。

≪ご参考≫

＊認知症は脳を使うことで防ぐことができます
- ◇笑うことにより脳を元気に
- ◇友人や家族などと楽しく過ごすことで元気に
- ◇日々することを決める
- ◇ほめて、やる気を起こす

＊認知症の人とのせっし方

認知症の人とのせっし方は、３つの「ない」、が大切です
- ◇おどろかせない
- ◇いそがせない
- ◇本人の心をきずつけない

大膳サロンみかん狩り

６班班長　川嶋　喜代子

令和元年度より、新型コロナの影響でサロン活動も計画通りに実行する事が出来ませんでした。買物に行くのも不備になり、家に閉じこもり、体力が落ち、認知症の傾向に陥った方も出ています。大膳サロンでは、１０月に緊急事態宣言の解除が出されるのを機会に、例年１１月に行っているミカン狩りを計画しました。

紫雲閣サンレー様へバスの手配等の相談に行き、ミカン園の予約、サロン参加者募集と、少しだけ楽しくなりました。しかし、その反面、コロナが怖いと不参加の声も聞かれました。三密を避け、安全安心な対策をとり、１１月８日にバス２台、２１名で出かけました。前日山田ミカン園に確認の電話を入れたところ「もう、ミカンは成って無いよ」と言われ、うそ！と思い一瞬驚きました。しかし、ミカンは余り実を付けていませんでした。採るのが無いないと言いながらもお なかの中に一杯つめ込んでいました。１０月末より、ミカン狩りが混み合い１１月３日は、警察の取締まりまで行われる騒ぎが起きたたそうです。

午前中の予定でしたがサンレー様のご好意で道の駅宗像、宗像大社の菊展を見に行きました。お昼食の準備をしていませんでしたが、其々の買い物の中から分け合って食べる様子を見て感激しました。帰路は、鐘崎漁港を通り、海が凄く荒れているのを見ながら、感動して少し大きい声がでていました。

サロンから一週間が経過し、参加者からコロナ感染者も出ず、福祉協力員一同安堵しました。ご協力ありがとうございました。

令和４年度の大膳サロンは、４月に花見、５月６月は、大膳公民館で、ニュースポーツ等で体を動かして体力づくりをしていきたいと思っています。大膳サロンは、コロナに負けないような活動をしていきたいと思っています。

「８班わくわくサロン」

８班班長　永濱　智恵子

この８班のサロン名「わくわくサロン」は、参加者が名付けスタートし早や４年。昨年１２月１７日（金）午後ヤクルト健康教室５回メニューの３回目。

当日朝より冷たい雨の悪天候にも関わらず１４名の参加ありがとうございます。福祉協力員さんお疲れ様です。

いつもの世間話しに花が咲き、プレゼントを渡すとマスク越しの笑顔に感謝します。コロナ禍での制約はありますが皆様と少しでも繋がりたいと思っております。

きょういく「今日行く所」きょうよう「今日用事」がある場所が「わくわくサロン」だと。

しかし毎回集会所をお借りし参加者に参加費を頂いている現状があります。

これから先は、知人、友人、隣り近所、我が家など身近で小さなサロンを理想と思っております。

招待する側が招待される側となる日も近いかな？

もう直ぐたくさんの花々が咲き、美しい新緑の季節、どうぞ皆様、チョット外出してみませんか？

見守り活動について

４班班長　本田智津子

福祉協力員の皆様方は、「お元気ですか」の配布の時、配布先の方に声かけをしていただき、困っていることや不安な事をしっかり聞いて、受け止めをしていただき、気づきがあれば、すぐに私に連絡をしてくださいます。そしてこの気づきを私が関係機関に繋いでいます。いつも気をつけてくれてくださるので、家で倒れていることに早く気がつき、命に別状がなく助かることもできました。

日吉台南自治町内会では、組長さんが福祉協力員として地域で見守りをしています。

「編集後記」

広報紙『であい４５号』を発行するにあたり、原稿を寄せてくださった皆様に心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス発生・感染拡大から２年が経過し生活環境が大きく変化しておりますが、早くマスクがいらない生活に戻ってほしいものです。

継続して「高齢者見守り活動」等発信して参りますので、引き続きご支援ご協力よろしくお願い致します。

広報啓発部